

競技者注意事項（少年少女記録会）

※新型コロナウイルスの対応策について

神奈川陸上競技協会主催大会では、「感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について」に準拠し競技会運営を行います。本協会 HP に掲載をしておりますので、大会参加者の皆様は、必ず事前にお目通しいたごき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後の内容の更新に当たり、大会要項を変更する可能性がございます。予めご了承ください。

- 1 規 則 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのアスリートビブス(ナンバーカード)や氏名等に記載誤りがあった場合は、午前9時までに受付に申し出ること。
- 4 集 合 (1)招集は行わず直接、競技場所に集合（トラック種目はスタート地点、フィールド種目はそれぞれの場所）
(2)集合時間は、プログラムに記載してあるので時間に遅れないようにすること。その後は、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 退 場 競技役員の指示に従って退場すること。
- 6 アスリートビブス (1)アスリートビブス・腰ナンバーカードは受付時に配布する。また、競技終了後、アスリートビブスは必ず返却すること。
(2)安全ピン(1名につき12本必要)は個人またはチームで用意すること。
(3)アスリートビブスは胸と背に配布時の状態で、1枚ずつ確実につけること。
(4)全員、腰用ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。
- 7 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。
(2)スタート ①トラック種目は、クラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。
但し、3・4年生については、スタンディングスタートも認める。
②スタートはイングリッシュコールとする。不正出発に関するルールは、旧ルールで行い、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。(そのまま競技は続けるが、順位はなし、記録のみ測定する参考記録扱いとする。)
(3)スパイクの使用を認める。(トラック7mm以下、フィールド9mm以下)。なお、素足での出場は認めない。
(4)走幅跳・ジャベボール投
①試技は3回とする。
②3ラウンド試技で行う。
③ジャベリックボール投は、ジャベボールを使用し、やり投げ用ピット(約29°)を使用し、助走は15m以内で実施する。投げ方は、オーバーハンドスローとし、ジャベボールの本体(羽の部分ではない)をもち投げること。
④ジャベリックボールは主催者が用意した物を使用する。持ち込みは認めない。
(5)走高跳 ①跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。着地は必ず足裏から着地すること。足裏から着地できない場合は不正試技とする。
②試技は3回連続で失敗したら競技終了とする。
③バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女同じ)
《走高跳びのバーの上げ方》
練習は1m00で行う。
試技は1m00から行い、以降5cm刻みで上げていく。1m35まで5cm刻みで

上げ、それ以後は3cm刻みで上げる。

- 8 記録証 記録証は、競技出場者全員に授与する。記録証はチーム責任者が浄書すること。
- 9 等級章 小学生で神奈川県陸協の「神奈川県小学生陸上運動等級記録」に達した場合は、当日中に申請し確認した者には、等級別ワッペンを交付する。(詳細についてはプログラムを参照)
- 10 試技およびレーン順は、主催者が公平に決める。(大会プログラム参照)
- 11 競技順序、競技日程及び競技のリザルトは県陸協ホームページを参照のこと。(リザルトについては大会終了後2～3週間で掲載する)
- 12 参加児童の人数によりクラブチーム毎に、競技場に入場する事の出来る人数を制限する。**
- 13 ゴミは各自で持ち帰る。また、貴重品等は各自の責任で管理すること。
- 14 新型コロナウイルス感染防止対応等で中止することがある。その際は、申込者にメールにて連絡する。